

身近で気軽にできる相談窓口として13年

秋元さんが大臣表彰報告

行政の相談窓口として、13年以上行政相談委員を務めた秋元武弘さんが総務大臣表彰を受賞し、濱館町長に受賞報告しました。

秋元さんは「相手の立場で話しを聞き、行政機関との連絡調整を密にしてきた。相談事案が、丁寧な対応・改善がされたとき、達成感を感じる」と話しました。濱館町長は「苦労が多かったと思う。町のためにも長く相談員を続けて欲しい」とエールを送りました。



地域で生き生き活躍するために

男女共同参画まぐ・ねっと学習会

男女共同参画社会を目指す「男女共同参画まぐ・ねっと」が11月23日(金・祝)に、ピュアとなりの町農村活性化施設で学習会を開催しました。県男女共同参画センター職員を講師に招き、人生の幸せをグループに分かれて話し合い、発表し合いました。健康ダンスで地域で生き生きと活躍する「べえ子ちゃん」を講師に、参加者みんなで健康ダンスを体験し、大盛況のうちに学習会は幕を閉じました。

新そばは打ちたて！ 香りもいい

新そばづくり体験教室

中央公民館では、11月25日(日)に新そばづくり教室を開催しました。講師のデモンストレーションと説明の後、参加者のみなさんは手順を確認しながら40分ほどかけてそば打ち体験をしました。希望者は打ちたてをその場でゆでて食し、「自分で打ったそばは特別おいしい」と苦勞しながら作ったそばの出来栄えに満足していたようです。

好評につき、そばづくり体験教室は2月3日(日)にも開催されます。詳しくは15ページをご覧ください。



みんなで体を動かす楽しさ学ぶ

2018キッズスポーツフェスティバル

小学生を対象としたキッズスポーツフェスティバルが、12月2日(日)町体育センターで開催されました。この日は、中里・武田・薄市の小学生ら約30人が体育館に集まりました。ストラックアウトや柔らかいフリスビーを使ってドッジボールのルールで遊ぶ「ドッジビー」などを楽しみました。

カーリングの要領で、的の中によりボールを近づけて競うニチレクボールでは、見学していた父兄からも応援の声上がり、盛り上がりを見せていました。参加した児童らは「フリスビーが難しくていろいろな方向に飛んでいった。ニチレクボールが楽しかった。また体験したい」と話し、友人と体を動かす楽しさを実感したようでした。

ストーブ列車を漬け物でお迎え!

11回目となる駅舎漬物まつり開催

津鉄応援直売会と金木地区生活研究グループ連絡協議会が、12月2日(日)に津軽中里駅の「駅ナカにぎわい空間」で「駅舎漬物まつり」を開催しました。大沢内駅舎ではじまったこのまつりは、今年で11回目となりました。開会式では、主催者を代表して佐藤イネ子さんが「この地域を少しでも元気づけたいと始めました。今年の漬物もとても美味しいのでぜひ食べてください。最後まで楽しんでってください」とあいさつしました。今回は、食生活改善委員でダシ活でおなじみの磯野とし子さんが漬物の作り方を実演しました。来場者たちは、名人の技を学ぼうと前のめりで説明を聴いていました。また、つきたてのお餅の振る舞いや、漬け物、野菜などの販売があり、地元住民や津軽鉄道の利用者などでにぎわっていました。



阿武咲関の優勝杯を寄贈

全日本力士選士権大会杯優勝報告

明治神宮例大祭全日本力士選士権大会が10月1日(月)に両国国技館(東京)で行われ、幕内トーナメントで中泊町出身の阿武咲関が優勝しました。12月6日(木)には、祖母の打越千恵子さんが、濱館町長を表敬訪問し、優勝杯を町に寄贈しました。トーナメント1回戦で中泊町出身の宝富士関が横綱白鵬関を破って気運が高まる中、同じく町出身の阿武咲関も勝ち進み、見事優勝しました。打越さんは「これからもいい結果を残して、町民の応援に応えていければ」と、さらなる期待に思いを寄せました。

除排雪の安全を祈願

町建設業協会が安全祈願

冬の道路の安全を守るため、町建設業協会(会長・平山久宗)が12月7日(金)に大沢内克雪センターで除排雪作業の安全祈願を行いました。祈願には濱館町長や同協会関係者など約20人が参加し、除雪や排雪作業の安全を祈りました。祈願終了後、発注者を代表して濱館町長が「雪と向き合う季節が来た。緊急車両も通る道路の安全はみなさんにかかっている。皆さんも安全に気を付け、町内交通の安全を守っていただきたい」と話し、それを受けて平山会長は「作業は大変だと思うが、除排雪中の作業事故が無いようにし、町内交通の安全確保に努めたい」と気持ちを締めながら、激励の言葉を送りました。



スポーツ推進の功績をたたえて

坂田体協会長が功労賞

スポーツの推進のために長年貢献してきた坂田峰之体育協会会長が、全国スポーツ推進委員連合から功労賞を受賞し、12月6日(木)に濱館町長を表敬訪問しました。

坂田さんは「名誉なこと嬉しく思う。これからも町のために、子どもからお年寄りまで健康づくりやスポーツの楽しさを伝えていきたい」と今後の抱負を話しました。